

## 臨床研修カリキュラム

養成コース [ 放射線診断・IVR 科 ]

### 全体目標:

医師としての基本的な態度・習慣を身につけるとともに、放射線診断に特化された以下のような研修を通して、画像診断学の基本原理とその臨床応用について修得する。

1. 1-2ヶ月研修:単純写真・CT・MRIの読影を基本として、希望によりバリウム検査、超音波、核医学、IVRなどが加わる。
2. 3ヶ月研修:単純写真・CT・MRIの読影を基本として、希望によりバリウム検査、超音波、核医学、IVRなどが加わる。後半ではそれらをさらに brush up するとともに、希望検査を追加してその割合を増す。(再ローテーションも含む)

### 個別目標:

1. 単純写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単純 X 線写真の基本原理を説明できる。</li> <li>・胸部単純・腹部単純・骨単純写真の基本的な撮像法・体位・撮影方向を説明できる。</li> <li>・胸部単純・腹部単純・骨単純写真の正常像の概略を把握し、代表的な正常変異を知っている。</li> <li>・代表的な疾患における胸部単純・腹部単純・骨単純写真の異常像を指摘できる。</li> <li>・単純写真の読影における systematic reading の方法を身につけている。</li> <li>・単純写真の読影レポートの作成方法を理解している。</li> </ul>
2. CT・MRI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本原理を説明できる(dual energy CT、MRI シーケンスを含む)。</li> <li>・適応、長所、限界などを知っている。</li> <li>・基本的な撮像法・プロトコルを説明できる。</li> <li>・経口造影剤・経静脈性造影剤の特徴を知り、その副作用について説明できる。また、造影検査を実施できる。</li> <li>・頭部・胸部・腹部の正常断層解剖を理解し、代表的な正常変異を知っている。</li> <li>・代表的な疾患における頭部・胸部・腹部の異常像を指摘できる。</li> <li>・読影における systematic reading の方法を身につけている。</li> <li>・読影レポートの作成方法を理解している。</li> </ul>
3. 核医学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核医学検査の内容を理解している。</li> <li>・投与のから撮像時間までの時間について知っている。</li> <li>・核医学で使う放射性同位元素とその半減期について知っている。</li> </ul>
4. その他	<p>&lt;バリウム検査:消化管造影&gt;、&lt;超音波検査&gt;、&lt;IVR&gt;については希望があれば研修可能。詳細は放射線診断・IVR グループのレジデントマニュアルを参照のこと。</p>

### 方略:

- ・ 予定表に記載された検査枠に入り、実際の検査を実施する。テキストやガイドラインを参照しながら画像診断報告書を作成し、上級医からその添削を受ける。
- ・ 単純写真については毎日割当症例が割り当てられるので、個々に読影して上級医に指導を受ける。
- ・ 夕方(勤務時間内)に行われる教育カンファレンスや他科との合同カンファレンス・講演会に出席する。希望により、科内カンファレンスで発表を行うことも可能。

### 評価:

- ・ 日常の勤務態度、画像診断報告書の内容を踏まえ、EPOC II による評価を行う。
- ・ ローテーション中に養成コース長による面接評価を行う(適宜)。